

# 第45回特別企画展 中村征夫写真展 海中顔面博覧会

## 開催のお知らせ

壱岐市立 一支国博物館

一支国博物館では、来る平成31年4月5日（金）から6月16日（日）まで、第45回特別企画展「中村征夫写真展 海中顔面博覧会」を開催致します。

つきましては、別紙の通り、概要をお知らせいたしますので、ご多忙中とは存じますが、お誘い合わせの上ご観覧くださいませよう、よろしくお願ひ申し上げます。

### 記

催 事：第45回特別企画展「中村征夫写真展 海中顔面博覧会」

会 期：平成31年4月5日（金）～6月16日（日）

場 所：壱岐市立一支国博物館 1階 テーマ展示室（有料）／3階 多目的交流室（無料）

時 間：午前8時45分～午後5時30分（最終入館 午後5時）

休館日：4/8（月）、15（月）、22（月）、5/7（火）、13（月）、20（月）、27（月）、

6/3（月）、10（月） ※ゴールデンウィーク期間中は毎日開館

展示品数：約90点（1階 テーマ展示室 約50点／3階 多目的交流室 約40点）

観覧料（1階 テーマ展示室）〔税込〕：

一般 500円【400円】 高校生以下 100円【80円】 年間パス会員 300円

常設展示室セット券

一般 800円【700円】 市民一般 700円【620円】 高校生以下 200円【180円】

※【 】内は団体（20名以上）料金 ※未就学児無料

※障がい者手帳保持者および介護者1名までは団体料金

主 催：壱岐市立一支国博物館

共 催：長崎文化放送株式会社

後 援：壱岐市／壱岐市教育委員会／長崎県埋蔵文化財センター／壱岐市観光連盟／

九州朝日放送／長崎新聞社／西日本新聞社長崎総局

協 力：株式会社中村征夫オフィス

第45回特別企画展

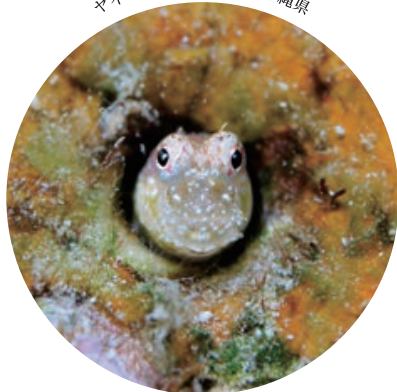
中村征夫写真展

# 海中顔面博覧会

2019年4月5日(金) → 6月16日(日)

1階テーマ展示室 —— 有料写真展  
3階多目的交流室 —— 無料写真展

ヤイトギンポの幼魚 / 沖縄県



ツマリテンゲハギ / パプアニューギニア



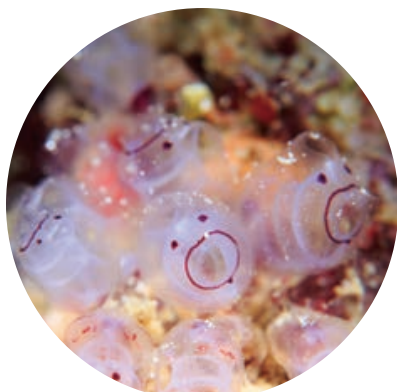
ハマクマノミ / 沖縄県



数ミリの小魚も巨大魚も、同じ野生の世界に住む仲間たち。

彼らのユニークな顔にしばし癒されよう。

笑い顔、泣き顔、すまし顔、まったく人間と変わらない。



ホヤの仲間 / 沖縄県



モンハナシャコ / パプアニューギニア



キアンコウ / 静岡県

中村征夫 (なかむらいくお)

1945年秋田県湯上市生まれ。19歳のとき独学で水中写真を始め、撮影プロダクションを経て31歳でフリーランスとなる。1977年初めて東京湾に潜り、ヘドロの海で遅く生きる生きものに感動、以降ライフワークとして取り組む。数々の報道の現場を経験し、新聞でスクープを取るなど「海の報道写真家」として活躍。出版物、テレビ、ラジオ、講演会とさまざまなメディアを通して海の魅力や海をめぐる人々の営みを伝えている。

主な受賞歴に、第13回木村伊兵衛写真賞、第28回講談社出版文化賞写真賞、第26回土門拳賞、2007年度日本写真協会年度賞などがある。

[おもな著書]

ノンフィクション『全・東京湾』(情報センター出版局) エッセイ集『海も天才である』(情報センター出版局) 写真集に『海中顔面博覧会』(情報センター出版局)『カムイの海』(朝日新聞社)『熱帯夜』(小学館)『海中2万7000時間の旅』(講談社)『遙かなるグルクン』(日経ナショナル ジオグラフィック社)『美ら海きらめく』(日経ナショナル ジオグラフィック社)『極夜』(新潮社)などがある。

このリリースに関するお問い合わせ

※配信停止などご要望がございましたら、  
お手数をお掛けしますが、下記メールアドレス  
レスまでお知らせ下さい。

吉崎市立一支国博物館

担当：広報営業 松嶋

〒811-5322

長崎県吉崎市芦辺町深江鶴亀触 515 番地 1

TEL : 0920-45-2731 FAX : 0920-45-2749

m.matsushima@iki-haku.jp

http://www.iki-haku.jp/